

第104回 全国高校野球選手権奈良大会
第9日

第104回全国高校野球選手権奈良大会は18日、橿原市の佐藤薬品スタジアムで2回戦2試合があり、16強が出そろった。王寺工は四回に3者連続バントで仕掛けて4得点するなど中盤にたたみかけ、奈良高専に6回コールド勝ち。大和広陵は磯城野との接戦を制した。二回に下位打線からの4連打をきっかけに逆転。1点差まで詰められたが、以降は先発の堀田空(3年)が要所を締め、九回に植村俊介(3年)の2点本塁打で突き放した。19日からは3回戦が始まる。

大技小技 王寺工



奈良高専一王寺工 王寺工五回裏、重盗を仕掛け、三塁走者谷川が本塁を陥れる＝いずれも佐藤薬品スタジアム

◇佐藤薬品スタジアム
▽2回戦
奈良高専 000 000 | 0
王寺工 001 423 | 10
(6回コールド)

打者	打点	得点	打数	安打	犠打	犠飛	三塁打	本塁打	盗塁	触塁	併殺	エラー	失点
【奈良高専】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【王寺工】	1	4	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	10

投手 関 安 敗 敬
加野 4 3 7 5 6 7
上 1 0 9 8 3 14
西 田 5 4 0 8 4

中山(野上) 関 谷
中井 三小西 西
川 聖王 3 西
田 秀幸 4 王 2
▽勝利(球) 辻本
正(轟) 倉田 田
中井 林田
1時間25分

先輩に見せた戦う姿勢

奈良高専・加美陽大投手

夏輝く

初戦でコールド負けを喫した奈良高専。同校では大会前に新型コロナウイルスの感染が広がり、チーム内でも陽性者が出ていた。全体練習が再開できたのは、試合の3日前。エースの加美陽大(3年)は試合後、目を赤くして「試合に出られたこと、支えてくれた先輩方に感謝したい」と涙り出した。



線と遠目からつかまった。バントを多用され、体力も気持ちもすり減った。「ここまでやってきたことを信じて投げろ」。試合前日にその声をかけてくれた2学年上の堂前航佑さん(2年)を思い出す。4回途中で5点を失っていたが、1死満塁から2、3番打者を飛球に打ち取り、意地を見せた。奈良高専は2年前の夏、新型コロナウイルスの影響で公式戦を辞退した。堂前さんは当

時の主将でエースだった。大会までの数日、堂前さんを含む10人弱のOBがチームの状況を知ってグラウンドを訪ね、練習を手伝ってくれた。先輩に雄姿を見せたかったこの試合、加美は五回途中で降板したが、戦う姿勢を買った。試合が終わるまで一度も座ることなくマスク越しに声援を送り、自ら志願して三塁コーチャーとしてグラウンドに立ち続けた。堂前さんは3年生の夏、高校野球に区切りをつける記念試合を終えた後、「あきらめない大切さを後輩がつかないでほしい」と語っていた。困難に見舞われて迎えたこの日、思いを継ぎ、声を絶やさない奈良高専の選手たちがいた。(早田 義典 中山(王寺工) コールド勝ちを決めるランニングホームランを放った2年生は涙。「悔しい思いばかりしてきたので、最後まで不安で。先輩と1日も長く一緒にやりたい」)

奈良

奈良総局
〒630-8538 奈良市
三条大路1-9-17
☎ 0743(36)6331
nara@sasahi.com

生駒支局
☎ 0743(75)3091

橿原支局
☎ 0744(22)2082

吉野支局
☎ 0747(52)2515

大和高田支局
☎ 0745(52)2047

読者のみなさまへ
お便りをお寄せください
0120-33-0843
(7:00~21:00)

購読・配達のご用は
奈良 (28)2650
(10:00~18:00
=日・祝除く)
(22)6780
広告(土日祝除く)
大塚朝日広告社
06(6205)8080
折り返しは
奈良 (61)3015